

子ぐまのウーたんのよいことさがし

名瀬市立小宿小学校 3年 福井 美愉

「みなさん、今日は楽しい遠足です。」

山ねこのみねこ先生が言いました。

ウーたんもほし組で、みんなといっしょに遠足です。ウーたんたちは、おべんとうをリュックに入れて、バスでカキク公園へ行きます。そして、バスに乗って、カキク公園に向かいました。

そこはきれいな花がいっぱいさいていて、湖もあり、メダカも泳いでいます。ウーたんは、一番のなかよしのめぐちゃんと、自由時間に湖の向こうがわの林まで泳いでしまいました。そして、二人は林の中でまいごになってしまいました。

ウーたんは、きょろきょろあたりを見回しました。

「あっ、あれは何だろう。」

丸いおもしろそうな、小さな乗り物を見つけました。二人は、とびのりしました。そして、青いボタンをおしてみました。

「ワァ～。」

とつぜん、青白い光があらわれ、ぐぐっと中にすいこまれていきます。二人はびっくりして、目をつぶりました。この時二人は、どうなっているんだろうとっていました。

目を開けてみると、びっくり。なんと、海のそこだったのです。でも二人は大よろこび。海には魚の友だちや、イルカの友だちがいっぱいだからです。

「やあ、イルカのウルウルくん。」

「おっ、魚のピチパチくん。」

「ひさしぶりだね。元気にしてた。」

ピチパチくんが、ひみつの場所へつれていってくれと言いました。行ってみると、二人が見たこともない色をした魚がいっぱい。

「うわ～きれい。」

ウーたんめぐちゃんは、感心しました。お友だちになれたらいいなと思っていると、

「こんにちは。わたし、にじ魚のことみっていうの。ことってよんでね。」

と、話しかけてくれたのです。二人はよろこんで、なぜここにいるのかを、全部話しました。

「もしかすると、いいことや、やさしいことをすると、またもとの世界に帰れるかもよ。」

二人は、さっそくいいことをするために、あちこちさがしました。すると、まいごのイルカを見つけました。すぐ二人はそばに行ってあげました。そして、黄色いボタンをおして、イルカ用のけいたい電話をとりました。

ウーたんは、192番をおしました。すると、イルカくんのお母さんがでまし

た。

「もしもし、イルカくんは、3回目の曲がり角を曲がって3丁目にいますよ。」
すぐに、イルカくんのお母さんが来ました。

すると、ボタンの下に、一つ明かりがつかしました。

「やったあ。」

二人は大よろこび。その時、

「うひょ〜。」

という声がしました。行ってみると、貝の上に真っ黒くてまん丸い物が乗っています。

「だれかー、助けてー。」

だれかと思えば、真っ黒になったしんじゅさんです。

「わたし、たこさんのすみをかけられちゃったの。おねがい。みがいてちょうだいな。」

「あいよっ。ひきうけた」

二人は、ハンカチで、ピッカピカにみがいてあげました。

「ありがとう。すてきになりましたわ。」

しんじゅさんにいいことをしたから、またボタンの下に明かりがつかしました。これで二つ目です。あと一つつけば帰れます。

「よし、あとひといきだぞ。」

いったん水面に上がってハッチを開けたら、空から小鳥が落ちてきました。

「キャー助けてー。」

二人は両手を広げて小鳥さんをキャッチ。

「だいじょうぶ。」

「いたたたた。」

めぐちゃんが薬箱を出してほうたいをしてあげました。すると、三つ目の明かりがつかしました。

気がついたら、そこはもとの場所でした。

遠くから、

「めぐちゃーん。ウーたーん。」

先生や、友だちのよぶ声がきこえます。

二人はいそいでみんなの所へもどりました。

「たのしかったね。めぐちゃん。」